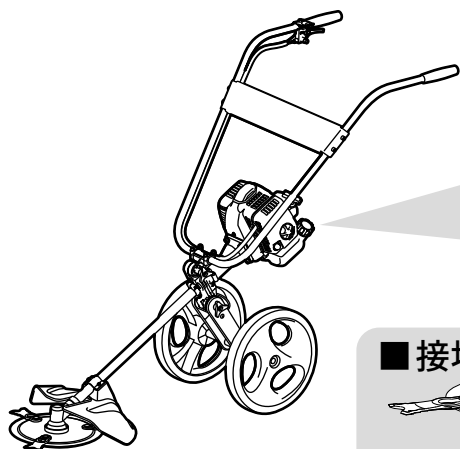
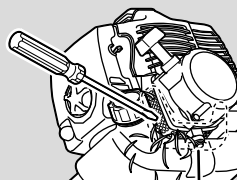


取り扱いのポイント

ご使用の際は、ここに示したことから必ず守ってください。誤った使い方をすると、故障や火災の原因になります。取扱説明書もあわせてお読みください。



■ 冷却風取入口



ときどきドライバーなどで付着した草やゴミをかき出すように取り除いてください

冷却風取入口

エンジンが充分に冷えてから行ってください。

■ 接地円盤



接地円盤



付着した草やゴミ

接地円盤を取り外し、刈刃円盤との間に付着した草やゴミを取り除いてください。

■ ブレードホルダーとその周囲



ブレードホルダー

付着した草やゴミを取り除いてください。

■ ブレード

ブレードは、裏表を変えることで、2面が使えます。

ブレード

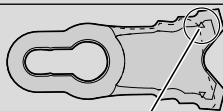


草を刈る面

ブレードが欠けたりヒビが入った場合は、使用せずに新品に交換してください。

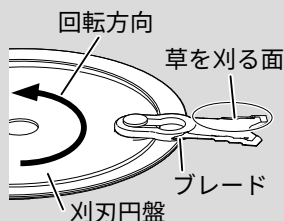
ブレードが削れてきたら

ブレードは草を刈る面が2面あります。草を刈る面の摩耗マークが削れて見えなくなったら、ブレードを裏返して取り付けてください。



摩耗マーク

摩耗して切れ味が悪くなったブレードで刈り続けると、本機に過負荷がかかり故障のおそれがあります。



回転方向

草を刈る面

ブレード

刈刃円盤

- ブレードを取り外し、未使用の面を刈刃円盤の回転方向に注意して取り付ける

ブレードを裏返して、草を刈る面が必ず刈刃円盤の回転方向側になるようにします。

草刈りのポイント

刈り方①：通常の草の刈り方

刈刃円盤を軽く地面に置くようにして滑らせて前進し、草を刈り進めてください。

■ スロットルレバー

作業中は、レバーは深く握るか、全く握らないかのどちらかにしてください。

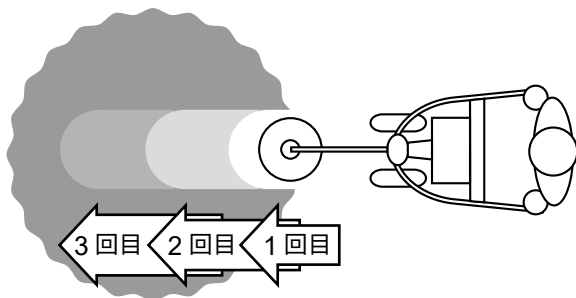
途中までレバーを握った状態（≒半クラッチ）で刈刃円盤をゆっくり長時間回し続けると、本機が故障するおそれがあります。



刈り方②：密集した草や、長く伸びた草の刈り方

密集した草や伸びた草は前進だけでは進みにくくなることがあります。

本機を前後させながら、前進時に草を刈り進めてください。



ここがポイント！

- 草刈り中にエンジン回転数が下がり、音が高音から低音に変化したら過負荷状態です。過負荷状態が続くと故障のおそれがあります。エンジン音に注意し、刈り方①②を状況に合わせて使い分けながら、作業してください。

- 熱によりシリンダーカバーが変色する場合がありますが、ご使用に問題ありません（故障ではありません）。

